

平成31年度鳴門市学園都市化構想実施計画における教育研究活動一覧

教育研究活動名等	継続・新規の別等	内 容	実施学校・園	実施学校・園 担当者	鳴門教育大学 担当教員
①幼児が進んで体を動かそうとする意欲を育てる保育実践「あそびのポケット」 【2.(1) 幼児教育・保育】	新規	季節や行事に合わせた伝承遊び、リズム体操、手遊びなどを幼児といっしょに遊びながら、体を動かす気持ちよさを感じることを目的とする。定期的に「あそびのポケット」の活動を学部生・大学院生とともに実施する。	認定こども園IZUMI	認定こども園IZUMI 園長 波里 史子	湯地 宏樹 教授 子ども発達支援コース
②発達障がい等を中心とした支援を要する園児に対する理解と支援についての研修会、教育相談 【2.(1) 幼児教育・保育】	新規	発達障がい等を中心とした支援を要する園児に対する理解と支援についての教員研修会に参画し、具体的な対応方法について協議し、教員の日々の支援上の悩み解消に向けた相談を進める。	成稔幼稚園	成稔幼稚園 園長 喜多須 薫	井上 とも子 特命教授 子ども発達支援コース
③子ども理解についての研修会、教育相談 【2.(3) 生徒指導】	新規	様々な悩みを抱える児童一人ひとりに対してきめ細かく対応するために、専門家のアドバイスを児童支援や保護者相談に生かしていく。	鳴門東小学校	鳴門東小学校 校長 佐藤 信之	小坂 浩嗣 教授 生徒指導コース
④発達障がい等を中心とした支援を要する園児に対する理解についての研修会、教育相談 【2.(1) 幼児教育・保育】	継続 (H30～)	発達障がい等、気にかかる園児について職員研修を実施する。具体的な支援方法を協議し、日々の園児支援や保護者相談に生かしていく。	認定こども園IZUMI	認定こども園IZUMI 園長 波里 史子	井上 とも子 特命教授 子ども発達支援コース
⑤幼児期における運動遊びについて 【2.(1) 幼児教育・保育】	継続 (H30～)	本年度、幼児の体力調査を実施したところ、園児一人ひとりの能力の個人差が大きいことが分かり、体幹機能や粗大運動の器用さについて見直していく。	成稔幼稚園	成稔幼稚園 園長 喜多須 薫	湯口 雅史 准教授 芸術・体育系教科実践高度化コース
⑥外国語科におけるICT機器の活用による学力向上への取り組み。 【2.(2) 学力向上】	継続 (H30～)	外国語科における、ICT機器や教材を効果的に活用することにより、授業や自学の時間の充実を図り、学力向上に資する取り組みを行う。	鳴門東小学校	鳴門東小学校 校長 佐藤 信之	喜多 容子 講師 言語・社会系教科実践高度化コース
⑦言語活動の充実を図るアプローチ 【2.(2) 学力向上】	継続 (H29～)	本県の重点課題である言語活動の充実に向け、全ての教科等において、書く・話す活動の充実を図る。	鳴門西小学校	鳴門西小学校 校長 賀川 隆博	幾田 伸司 教授 言語・社会系教科実践高度化コース
⑧アクティブラーニングの手法を用いた中学校数学授業の工夫 【2.(2) 学力向上】	継続 (H28～)	中学校数学授業における生徒の学力向上を目的として、アクティブラーニングの手法を用いた数学授業の創出と工夫を中学校教員と協働で模索する。	鳴門中学校	鳴門中学校 校長 折目 泰子	自然・生活系教科実践高度化コース ○佐伯 昭彦 教授 成川 公昭 特命教授 秋田 美代 教授 松岡 隆 教授 宮口 智成 准教授 早田 透 講師
⑨保幼小連携推進研究事業 【2.(1) 幼児教育・保育】	継続 (H27～)	保幼小における発達や学びの連続性を踏まえた円滑な接続を目指し、園児、小学生が鳴門教育大学多目的広場において本学学生と共に自然体験活動を行い、その活動を通じて異年齢交流を行う。	鳴門西小学校 成稔幼稚園 認定こども園IZUMI	鳴門西小学校 校長 賀川 隆博	子ども発達支援コース ○湯地 宏樹 教授 田村 隆宏 教授 浜崎 隆司 教授 木村 直子 准教授 塩路 晶子 准教授

※ ○印は、代表者を表す。

※ 対象の学校園 → 鳴門中学校、鳴門東小学校、鳴門西小学校、成稔幼稚園、認定こども園IZUMI(平成30年度から鳴門東幼稚園は休園)

※ 上記の教育研究活動の詳細については、鳴門教育大学学術情報推進課地域連携係(Tel. 687-6101)にお問い合わせください。